

政策研究センター リサーチ・プロジェクトとは

政策研究センターでは、時限制プロジェクト方式による政策志向型の共同研究を積極的に推進しており、本学研究水準と国際的なステータスの向上につながる先端的な政策課題に関する研究をリサーチ・プロジェクトとして学内公募・精選し、本学教員、学生及び学外研究者等からなる研究チームによる共同研究を支援している。

具体的には、様々な政策課題に応えるため、2018 年度から、SDG's に関する研究を奨励するとともに、2019 年度からは、(1) 自由応募枠：研究テーマを限定しない研究、(2) SDGs 特別枠：SDGs への具体的な貢献を意図する研究、2020 年度からは、それらに加えて、(3) COVID-19 枠：新型コロナウイルス感染症対策への具体的な貢献を意図する研究の 3 枠を設けるなど、社会のニーズに応える先端的研究への支援を積極的に実施している。2019 年度からは、最大年に 4 回の公募を行っており、次年度以降の外部研究資金獲得を目指す研究、応募者にとって新しい研究分野に挑戦する研究、新規採用教員や若手研究者が研究代表者となる研究を奨励している。

公募にあたっては、学外研究者や海外の研究者、ポストドクトラルフェロー・博士課程学生等の若手研究者を含むプロジェクトを奨励している。特に博士課程学生については、リサーチアシスタント (RA) としてリサーチ・プロジェクトに参画することが可能である。

リサーチ・プロジェクトの研究期間は原則 1～2 年となっており、採択や継続に際しての審査が行われるほか、プロジェクト終了時には、学外者を含めた運営調査会において事後評価を実施している。

なお、各プロジェクトの報告において使用されている役職名及び所属機関等は、2022 年 3 月末時点のものである。

政策研究大学院大学 2021 年度活動報告

2021 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日

政策研究センター リサーチ・プロジェクト

政策研究センターホームページ (<http://www.grips.ac.jp/r-center/>) で、各リサーチ・プロジェクトの概要と成果報告書を公開しておりますが、2021 年度分については現在準備中です。

- Clean energy transition and natural resources, a paradox?: Case of lithium ion mining and battery production
- 気候変動下における東アフリカ諸国農家家計の生計戦略と厚生
- Gender Pay Gap over the Life-Cycle in Low-Fertility Economies – The Cases of Japan and Taiwan
- 日本の中央政府と地方公共団体のコロナ危機への対応
- 国内外の個人情報保護法制が日本の学術研究活動にもたらす影響
- Unveiling the Technique Effect: Carbon Taxes and Innovation
- Green Recovery from the COVID-19: Carbon Taxes and Fiscal Reforms
- 新型コロナウイルス感染症の政策科学の展開
- インド太平洋地域における海洋安全保障
- テレワークの進展による都市鉄道需要の変化に関する研究
- 雇用・労働と家族関係の経済分析
- Mirroring Uganda's School-Going Males in MHM: Familial-School Gender Politics
- Gender, Development, and Protestantism: Evidence from 20th Century Korea
- SDGs 指標のデータ可視化による「GRIPS SDGs データベース」の拡充
- 歴史的政府資料の AI を活用した情報公開促進の試行
- COVID-19 下および Post COVID-19 における最貧困層の生計調査
- 審議映像を活用した障害者の遠隔・仮想現実による議会参画
- UHC への貢献 2.0 ― 直近状況を踏まえた支援と本質の探究 ―
- Technological Upgrading in Global Value Chains of Automobile Industry in Southeast Asia
- Population ageing and the environment

- 審議映像を活用した顔認証・声紋認証による統合的人物照合技術の開発
- 政策科学におけるデータサイエンスと数理モデリングの活用と深化
- インド太平洋構想における ASEAN 対話国との協力可能性に関する研究
- 科学コミュニケーターのスキル・スタンダードとナレッジ・プラットフォームの構築